

小豆島八十八ヶ所霊場の紹介

小豆島は「オリーブ」、小説「二十四の瞳」がよく知られていますが、「島四国」とよばれる八十八ヶ所遍路があります。これは弘法大師空海が四国から小豆島に渡り、修行した跡が残ったものといわれています。

日本三大新四国霊場として「小豆島（香川県）」、「知多（愛知県）」、「笹栗（福岡県）」が有名ですが、小豆島は这其中で一番古い歴史があり、たくさんの方々がお参りに訪れています。

小豆島の八十八ヶ所霊場を通して小豆島についてもお話しさせていただきます。



1 番札所洞雲山の岩肌に6月の夏至前後30日間、浮かびあがる「観音菩薩像」

日 時：令和7年9月20日(土) 13:30～15:30

会 場：長堀ルーム

講 師：山本 友江(S52 家食)

参加費：500 円

申込締切日：開催日の7日前まで

申込先：佐保会大阪支部 HP へ